

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時:令和8年5月28日(木)

1~4 校時(9:20~12:20)

場 所:古墳の丘古曽志公園・埋蔵文化財調査センター

対 象:島根県立松江ろう学校高等部3名、小学部1名

指導者:松江ろう学校教員6名(手話通訳の役割含む)

埋蔵文化財調査センター職員2名

1 主題 「古墳や遺跡について知ろう」(総合的な探究の時間)

2 ねらい

- ・古墳や出土遺物、遺物の保存技術等の見学を通して、地域の文化財について関心を深める。
- ・探究活動として、地域の歴史に関する情報を収集する。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
9:15	(埋蔵文化財調査センター到着)		
9:20	1. 講師紹介、今日の流れを知る。	・講師の先生を紹介する。	・スケッチブック
		・見通しを持って学習できるように本時の学習内容を知らせる。	・ポケット Wi-Fi
9:25	2. 土器など出土品の実物を観察したり、説明を聞いたりして、時代や特徴、用途について知る。	・出土品の特徴や用途について考えられるようにするために、実際の出土品を近くで観察できるようにする。	・タブレット
	・展示室の見学	・説明資料は視覚的な情報を多くし、難解な言葉はあらかじめ事前学習で意味理解できるようにしておく。	・ロジャーマイク
	・バックヤードの見学	・手話での情報保障や、難解そうな言葉は個々に適宜補足説明を加える。	
	(適宜、移動と休憩)	・聞きながらのメモは難しいので、記録する時間を適宜とる。ただし、十分な時間確保は難しいので、事後にまとめられるよう、教員が別途記録を残しておく。	
10:10	3. 保存技術施設の見学と体験 (復元室)	・興味をもったものを、個人タブレットで撮影する。	鉛筆(インク類は使用不可)
		・手話での情報保障や、難解そうな言葉は個々に適宜補足説明を加える。	
11:10	(古墳の丘古曽志公園へ移動) バスで移動	・古墳を体感し、古墳時代についてイメージをもてるようにする。	
11:15	4. 古墳の丘古曽志公園の古墳やレプリカを見学する。		

12:10	5. 学習を振り返る		
	・感想発表		
12:20	・終わりの挨拶		
	・終了		

4 準備物

(生徒・児童) タブレット、筆記用具(鉛筆かシャープペンシル)、バインダー、水筒、帽子、タオル

(学校) カメラ、スケッチブック、ポケット Wi-Fi、ロジャーマイク

(埋文センター) 埋蔵文化財調査センターパンフ、古墳公園パンフ、ゴム手袋

5 注意事項

「特別収蔵庫」と「木器収蔵庫」では、次の3点は禁止とする。

(1) 写真撮影、(2) 飲食、(3) インク(マジックやボールペン、マーカー)